



< 第13節終了時点順位表 >

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	法政大学	8	3	2	24	14	+10	26
2	早稲田大学	8	4	1	32	19	+13	25
3	流通経済大学	7	3	3	24	14	+10	24
4	明治大学	6	3	4	19	11	+8	22
5	駒澤大学	6	3	4	21	20	+1	22
6	順天堂大学	5	4	4	22	20	+2	19
7	中央大学	6	7	0	17	25	-8	18
8	東京学芸大学	4	5	4	13	15	-2	16
9	青山学院大学	4	7	2	20	24	-4	14
10	国士舘大学	3	7	3	20	25	-5	12
11	東海大学	3	7	3	16	29	-13	12
12	筑波大学	2	9	2	14	26	-12	8

得点ランキング

- 10ゴール 渡邊千真(早大)
- 8ゴール 林 陵平(明大)
- 7ゴール 菅原康太(国士大)
- 兵藤慎剛(早大)
- 6ゴール 岡本達也(順大)
- 市川雅彦(法大)
- その他 2名

アシストランキング

- 6アシスト 伊藤大介(順大)
- 5アシスト 菊岡拓朗(法大)
- 大瀧義史(中大)
- 4アシスト 山本脩斗(早大)
- 柏 好文(国士大)
- 平木良樹(流経大)
- 池田 圭(流経大)

KOMAZAWA X T SOKUBA

同点ゴールを決めた田谷
(撮影・星 宏樹)

遠い勝ち点3

1分1敗。これが後期リーグ戦がスタートしてから駒大の結果だ。2位から5位への転落、1位の法大との勝ち点差は4開いてしまった。前期リーグ戦、第10節早大戦の敗戦以降駒大は関東リーグ一部の大学相手に勝ち星を挙げていない。この非常事態にも駒大はまだ闇から抜けられずにいた。

大臣杯予選で敗れて筑波大との一戦。リベンジを誓い試合に臨んだ。開始2分に、田中のスーパースhootが駒大ゴールに突き刺さる。前節に引き続き、前節にも開始早々の失点にも駒大は冷静だった。累積明けの田谷、スタメン復帰の島田の両サイドハーフを中心に攻め立てていく。36分には島田がドリブルで左サイドを突破しシhoot、飛び込んだ田谷が同点弾を決めた。島田が入れて(東平)大佑も俺も走ったから取れた点」と田谷は試合後振り返った。

この点を機に駒大はベイスを掴むが決めきれない。65分八角のシhootもバーに嫌われる。伝統やプレッシャーはあるけどそれに負

けているうちは駄目。チャンスがあっても決めきれない、これが今の現状(八角)。掴みかけたチャンスも物にすることが出来ないのだ。逆転を狙うが、疲れからDFラインが下がりは始める。そこに出来たスペースを狙い、攻めてくる筑波大。だが、駒大DFは引き出されて裏を使われる怖れからボールに行くことが出来なくなっていた。ロスタイム2分駒大にチャンスは訪れず、試合は1-1の引き分けで終わった。

今の駒大には技術が必要なのではない、気持ち。駒大サッカーは気持ちを中心に戦う熱いサッカー。その熱い気持ちが今のチームには見えない。自信を取り戻すために欲しかった勝利という結果。どんな形でも勝てばこのチームは闇から抜け出すことが出来るはずだ。今日勝ち点取れたんで、先週よりはレベルアップかな(秋田監督)。

次は遠かった勝ち点3を物にし、挑戦者として頂上目指す駒大の姿であって欲しい。

(塩田英美)